

みちしるべ

みずからのために道しるべを置き みずからのために標柱をたてよ (エレミヤ31:21)

人になれ 奉仕せよ

聖句： 動かされないようにしっかり立ち、主の業に常に励みなさい。(コリント信徒への手紙Ⅰ 15:58)

保育目標：	0歳児	・保育者に見守られ、のびのびと全身を使って遊ぶ。
	1歳児	・季節を感じ、戸外で身体を使って楽しく遊ぶ。
	2歳児	・自分から友だちや保育者に関わって遊ぶ。 ・簡単な身の回りのことをやってみようとする。
	年少組	・友だちと一緒に運動や遊びを楽しむ。 ・秋を見つける。
	年中組	・みんなと一緒に運動や遊びを楽しむ。 ・どんなことでも一生懸命する。
	年長組	・のびのびと運動や遊びを楽しみ、身体を強くする。 ・友だち同士協力して遊ぶ。

例年にない厳しく暑い夏、いかがお過ごしでしたでしょうか。高温注意情報と光化学スモッグ注意報が日常化してしまうような厳しい夏でしたね。こども園でも子どもたちの健康管理が最優先な夏の生活でした。そのような中でも、水や色水遊び、泥遊び、絵の具遊びなど子どもたちは全身で楽しんでいました。砂場で掘った穴にひたすら水を溜めようとあれこれ試している人、雨上がりの大きな水溜りに四駆ならぬ三駆の三輪車を入れ、前進とバック、深さと走行の関係を検証している人、ひたすらアリの巣を虫眼鏡で観察している人、庭の片隅で泥団子づくりに夢中になって取り組んでいる人、その愛しいものを育てるような手つきと集中力はまさに芸術家か職人です。乳児さんたちも同様です。出会う初めてのモノ、コトに興味津々、じっと見て、触って、舐めて、投げてみて確認し、そのモノを知ろうとしています。お友だちの回すコマを上から眺めて、横から眺めて、回る不思議を感じながらじっと見ていると、それに気づいた少し大きなお友だちがコマを差し出してくれました。そして真似て、自ら何度も何度も挑戦していました。言葉でのやり取りがまだできない子どもたちも相手の思いに気づいて、分かち合う心を持っていることは驚きです。そして大人が教える以上に子ども同士が影響し合って、意欲的な挑戦が生まれ、学び合い育ち合っています。

幼い子どもたちは誰もがチャレンジャー、そして大人にとってたわいもなく見えることも、子どもにとっては意味があり、この1つひとつが学びに向かう力や思いやる心の芽につながっていくのですね。このように子どもたちはやりたいことを見つけ、夢中になって取り組む中で失敗も重ねながら、様々な発見や学びをしています。子どもたちが、どれだけその遊びの中で燃焼できたかが、子どもたちの育ちにつながります。私たちの役割は、子どもたちの興味関心から生まれる内なる要求に応じていくことであり、その子を持てる力がフルに発揮され、自分の枠を広げていくことが出来るよう支えることでもあります。

子どもたちは本来、自己充実する力を持っています。自分のやりたいことを十分に行なって得られた満足感と一人での充実、その後の他者と関わる世界への広がりや充実につながっていきます。受けとめられて、やりたいことを十分行った人は、次に他者に心を向け、受け入れる力を発揮できるのです。私たちはこどもたちがおもしろい！やってみよう！気持ちで始められるような環境づくりと、一人で或いは仲間とじっくり取り組める時間やかかわりを大切にしたいと考えています。

ご家庭で、こども園で、過ごしたそれぞれの夏。かけがえのない時間の中で、思い出に残る1ページを作られたことと思います。いいこともそうではなかったことも、プラスマイナスとの経験も成長の糧となったことでしょう。

こども園で過ごした年長組の希望者は8月17日に東京都美術館で行われた、「TURN」(障がいの有無、世代、性、国籍などの様々な違いを超えた出会いで表現を生み出すアートプロジェクト)に行ってきました。東京藝大の研修室でお弁当を食べさせていただき、藝大美術学部長の日比野さんやアーティストのお話を聞いたり、アート作品に触れたり、描いたり作ったり、作品を体験したりと多彩なパフォーマンスを楽しんできました。

日頃のアート活動も生かされ、子どもたちは集中して創作活動を楽しんだり、全身でアート作品を感じているようでした。おもしろかった、楽しかった、の声、加えてお家の手作りお弁当タイムの嬉しそうな笑顔が印象的でした。子どもたちは障がいの有無や国籍は関係なく、作品と人にダイレクトに反応していました。まっすぐ受けとめる子どもたちの感性はステキです。子どもたちの姿に私たちが教えられました。

2学期もうんどうかい他楽しいプログラムが予定されています。まずは実りの秋の言葉通り、子どもたち一人ひとりの生活がより充実したものになるよう心を注いでいきたいと思えます。その上で、日常の延長線上にある非日常的な園のプログラムもご家庭とご一緒に楽しんで、子どもたちの成長を喜び合うときといたしましょう。

園長 根津美英子

楽しかったね、お礼祭



今年も6月30日(土)にお礼祭が開かれました。大勢の卒業生が戻って来て懐かしいお顔を見せてくれました。保護者の方が年長組・ゲームコーナー、年中組・食べ物コーナー、年少組・献品コーナー、乳児クラスは袋釣りの各コーナーを担当して下さい、お父さんの会も恒例の焼きそばやかき氷のお店を開いてくださいました。保護者バンドもバイブルクラスのお母さま方や子ども達と一緒にたくさんの賛美を演奏してくださいました。
また関東学院六浦小学校合唱団、中高鉄道研究会の汽車、げんきずのコーナー、福祉施設や港南教会など地域の方々のお店、島根さんの竹細工、アートテラスさんによる椅子作り、そして今年もけん玉名人のイージーさんにもおいでいただき、お礼祭が大いに盛り上がりました。ご協力いただいた皆様に心から感謝いたします。



今年もイージーさんは大人気

先生方が色々な園へ見学に行ってきました。

夏の間先生方がたくさんの学びをしてきました。この学びをこれからの保育に生かしていきたいと思ひます。



認定こども園こどもむら(埼玉県) どんりゆう幼稚園(栃木県)



広島大学付属幼稚園(広島県)



にじぐみ夏まつり

学生さんのグループが企画してくれた夏祭り。子ども達も楽しみながら準備をして学生さんと一緒に行いました



くじ引き屋さん 当たりは出るかな?



白玉やかき氷は 白くてすかき氷は

色々な方がこども園にやってきました



中国からのお客様



台湾からのお客様

TURN見学

年長組は上野にある東京都美術館で行われた『TURNフェス4』に行きました。「日常非常日(ピジョップジョップ)」をテーマに、健康者でも障害があってもひとりひとり異なる日常が会うことで生まれる“違い”を知り、それを楽しむ場を創造するアートやワークショップなどのイベントに参加しました。色々なアーティストや作品に出会いました



夏のにじ組

にじ組も夏の生活になり、子どもたちは異年齢で蝉取りやクッキングなど夏の遊びを満喫しました。心と体を思いきり使ったあとは美味しい給食をいただき、そしてごろごろタイム。ゆっくり体を休めました。



とうもろこしの皮を剥いたりお野菜をちぎったりお手伝い



絵本を見たりお話ししたりゴロゴロタイム 年少組さんはぐっすり



今年の甲子園も盛り上がりましたね。皆も未来の甲子園球児になれるかも



お散歩&お弁当



年中・年少組は 関東学院八景キャンパスまでお散歩に行きフォーサイト21という建物の10階のお部屋でお弁当を食べました。



お友だちと協力しながら作ったホットケーキ。ひっくり返すのはちょっと難しかったけれど、とっても美味しかったです



ひまわりに毎日お水をあげたり、せみと出会ったよ(乳児クラス)

すいか割り



手作りの目隠しをつけて、狙いを定めて「エイッ！」割れたすいかの味は格別です。

プール遊びに最適な暑い暑い夏でしたね。乳児クラスから年長組まで、ビニールプールや園庭の大きなプールでたくさん遊びました。



先生にお水を掛けちゃおう!



まあいプール 独り占め!



先生のまねっこできるかな



泳いでる?



いい気持ちね!



先生の船にみんなで乗船



冷たくて気持ちがいいね



縁につかまれば平気だよ



お水に触るだけで涼くなるね(乳児クラス)



島貫先生による歯磨き指導。みんな真剣に聞いていました。(年長組)



新聞紙気持ちいいね(乳児クラス)



鏡を見ながら自分の顔を描きました。じーっと鏡とにらめっこ。(年長組)



各学年で収穫したお野菜を食べました。形や匂いなど確かめて。



チョークを削り自分色の絵の具を作りました。(年中組)



先生がかき氷屋さん。好きなシロップをかけていただきませーす!(年少組)



「ペー！」舌がシロップ色になったよ!



「ペー！」舌がシロップ色になったよ!



「ペー！」舌がシロップ色になったよ!



7月8月のこども園